

第1 令和7年度予算編成について

現在の我が国の景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されるが、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、アメリカの政策動向、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

このような経済状況の中での2025年度の県税収入は、企業収益の減少による法人二税の減収が見込まれるものの、定額減税の終了や個人所得の増加による個人県民税の増収が見込まれることから、定額減税の影響を除く県税全体としては、前年度と同水準を見込んでいる。一方、歳出では、医療・介護・子育てなどの扶助費や、民間企業の賃上げの影響を受ける人件費といった義務的経費が増加することなどから、2025年度当初予算の編成にあたっては、依然として多額の収支不足が見込まれた。

こうした状況に対応するため、2024年度における財源確保等により、年度内の減債基金（任意積立分）及び財政調整基金の取崩しを全額取り止めた上で、2025年度において再び多額の基金取崩しを計上することにより、収支不足を解消したところである。

引き続き厳しい財政状況ではあるが、イノベーションを創出する好循環を生み出す日本の成長エンジンとして、将来にわたって我が国の発展を力強くリードし続けられるよう、さらに愛知を発展させていかなければならない。

そこで、「愛知発のイノベーション&成長戦略」及び「13の柱」を重点に、予算編成を行った。

I 愛知発のイノベーション&成長戦略

II 2025年度当初予算体系

- 1 「リニア大交流圏」の形成
- 2 産業首都あいち
- 3 農林水産業の振興
- 4 次代を創る教育・人づくり
- 5 安心と支え合いの福祉・社会づくり
- 6 安心できる医療体制の構築
- 7 誰もが活躍できる社会づくり
- 8 あいちのグローバル展開
- 9 選ばれる魅力的な地域づくり
- 10 安全・安心なあいち
- 11 環境首都あいちの推進
- 12 東三河の振興
- 13 地方分権・行財政改革の推進